

ニセコ町地域防災計画の修正に係る縦覧及び意見募集について

この度、ニセコ町地域防災計画の修正に係る縦覧及び意見募集において町民の方から貴重なご意見をいただきましたので回答致します。

ご意見

1. 想定する災害

気候変動の影響などで、国内外で「想定外」と言われる災害が頻発している。しかしながら、科学的に豪雨やドカ雪が増えることが予測されており、「想定外」というのは、そうした予測に対する準備不足に他ならない。P17でも、過去の災害履歴をもとに記述されていることは、将来予測に対する準備が甘いと言わざるを得ない。

ニセコ駅前付近は、河川の氾濫に対して対策が十分でしょうか？

ドカ雪による交通マヒに対して、具体的にどのような対策をしているのでしょうか？住民の多くは近年の湿った重いドカ雪で除雪に苦勞しており、防災の中でも雪害を最も心配しています。

2. 能登半島地震で浮き彫りになったことは、①避難所のひどさ（プライバシーの確保、暖房、トイレなど）。東南アジアでも、はるかに進んだ避難所運営がなされています。そうした先進事例を調べ、もっと見習うべきだと思います。
- ②ボランティアの受け入れ態勢。各自治体は災害経験が少ないため、対応に混乱を来す場合が多く、一方で災害ボランティアは経験豊富であり、災害時に上手く受け入れて活動していただくことを考えるべきだと思います。

回答等

1 想定する災害

- ① ニセコ駅前付近は、河川の氾濫に対して対策が十分でしょうか？

【回答】 ニセコ駅前付近の河川氾濫の対策につきましては、ニセコ町防災ガイドマップによる洪水浸水想定区域（洪水ハザード）の住民の方への周知をはじめ、中央通連合町内会の自主防災組織と町が連携し、災害に備えた防災訓練（住民避難訓練ほか）や速やかな避難に資する自らの行動計画（マイ・タイムイン）の作成等の講習会を開催し、災害対策の向上に努めています。

- ② ドカ雪による交通マヒに対して具体的にどのような対策をしているのでしょうか？

【回答】 大雪が予想される場合（大雪となった場合を含む。）は、除雪車のオペレータが待機し、国土交通省小樽開発局、北海道後志総合振興局、警察、消防と連携し、緊急車両及び除雪車が緊急通行できるように対応します。

また、上記の関係防災機関で対応が不足する場合は、自衛隊への災害派遣要請を北海道を通じ行い、雪害対応をします。

2 能登半島地震で浮き彫りになったこと

- ① 避難所のひどさ（プライバシーの確保、暖房、トイレなど）。東南アジアでも、はるかに進んだ避難所運営がなされています。そうした先進事例を調べ、もっと見習うべきだと思います。

【回答】 町は、食料品や防災資器材（暖房器具、簡易ベット、ポータブルトイレなど）の備蓄を計画的に行ない、災害への備えを行っています。

また、能登半島地震では被災地へ職員を派遣し災害支援を行い、そこで得た経験及び知識を町の災害対策の取組へ反映致します。また、避難所運営及び各種防災対策については、防災関係機関等と連携し、先進事例等を調べ改善が必要な場合は改善を行います。

- ② ボランティアの受け入れ態勢。各自治体は災害経験が少ないため、対応に混乱を来す場合が多く、一方で災害ボランティアは経験豊富であり、災害時に上手く受け入れて活動していただくことを考えるべきだと思います。

【回答】 災害ボランティア活動は、町が大規模災害時に行う災害応急対策や被災者個人の生活の維持や再建を援助するうえで、とても重要だと考えおり、昨年6月にニセコ町社会福祉協議会と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結し、ボランティア団体・NPO等からの協力を受け入れる体制を整え、効率的な災害応急活動等が実施できるように努めています。